（別紙4）　　平成　29　年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1291200341		
法人名	有限会社元気介護支援サービス		
事業所名	元気ホーム北松戸		
所在地	〒270-0025　千葉県松戸市中和倉468－2		
自己評価作成日	平成29年3月12日	評価結果市町村受理日	平成30年5月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人　人材パワーアップセンター
所在地	千葉県松戸市栗山542-2
訪問調査日	平成　30　年　3月　15　日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが自分のペースで生活でき、思いを表現できる場所であること。家族の方と良い関係を続けられる様な関わりの場を目指して取り組んでいます。認知症により他者とかみ合わずに生じるストレスが症状を悪化させると考え、どの様にかみ合わせるか、繋がっていると感じられる様にするかをテーマとしています。単独で医療系サービスには対応していませんが、訪問看護ステーションや訪問して頂ける医療機関と密に連携をとり安心して暮らせる下地作りを行っています。一方で身体の徹底した安全を求めることは抑制・拘束につながる場合もある為、リスクマネジメント?を行ってその人らしさを発揮できる様に心掛け、グループホームらしさとは何かを地域の方と一緒に考えていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

利用者一人ひとりに対応した介護を心がけています。個人生活記録に利用者の表情や思い、意向を記録する仕組みがあります、職員は記録を読んで利用者の心の思いを把握しています。個室は利用者が安心して暮らせるように、利用者と家族が一緒に居室を作っています。利用者の知り合いリストがあり、利用者が知り合いに書中見舞いや年賀状を出し人間関係の継続を支援しています。安全面では、夜間想定の防災訓練を行い、職員一人が対応し、他の職員は見学する形で自主訓練を行いました。今後は、「私たちの目指すグループホーム」を実現していくための基本的な考えを理念として共有すること。介護相談員の利用者との面談結果を施設長・職員全員と共有し利用者の意見、要望が反映できる仕組みづくりを期待します。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）		1. ほぼ全ての利用者の
		○	2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）		1. ほぼ全ての家族と
		○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）		1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）		1. ほぼ全ての職員が
		○	2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない